

会 議 記 録

会議の名称		第2回守谷市学びの多様化学校設置検討委員会		
開催日時		令和8年6月30日（火） 開会：午後1時30分 閉会：午後3時15分		
開催場所		守谷市役所3階 庁議室		
事務局（担当課）		教育委員会 教育指導課		
出席者	委 員	奈幡委員長、小林副委員長、福島委員、染谷委員、鈴木委員、青山委員、秋田委員、片岡委員、石川委員、古橋委員、永野委員、宇佐見委員、谷川委員、高木委員、永井委員		
	その他	学びの多様化学校マイスター 黒沢氏		
	市職員	教育指導課 課長補佐 望月、指導主事 G 寺田、吉田、田中		
公開・非公開の状況		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開	傍聴者数	4人
公開不可の場合はその理由				
会議次第		1 開 会 2 委員長あいさつ 3 協議事項 （1）「守谷市学びの多様化学校基本方針（案）」について （2）その他 4 閉 会		

1 開 会

- ・出席委員：15 名 ※委員の過半数が出席しているため成立（要項第 6 条第 3 項）

2 委員長あいさつ

- ・奈幡教育長あいさつ

3 協議事項

（1）「守谷市学びの多様化学校基本方針（案）」について

- ◆事務局（秋田委員、片岡委員）から、学びの多様化学校の基本方針案について説明。

【説明概要】

① 新たな学びの場の確保

- ・学習指導要領の枠を柔軟に超えた新たな学びの場を確保し、そこで培うウェルビーイングなアプローチを将来的に市内全 13 校へ広げていくことを目的としていること。

② スクールイメージ(コンセプト)

- ・「新しい学びに、なりたい自分に、大切にしたい自分に出会える学校」を目指し、「柔らかく、緩やかに、豊かに」学べる環境を提供すること。
- ・自分の「好き」をとことん追求し、地域・社会とつながることで、自分で決める学びを実践していくこと。

③ 学校の 3 つの特色

- ・特色 1：ゆとりある学校生活

⇒ 年間授業時数を標準授業時数から約 2 割減の 875 時間、1 コマ 45 分授業とし、登下校時刻も緩やかに設定。

- ・特色 2：体験や探究を重視した学習活動

⇒ 新設教科として各教科の定着を図る「アンクレ Time」や、個人探究を行う「いろいろなラーニング科」を設定するほか、放課後に「チャレンジ Time」を設ける。

- ・特色 3：安心して学校生活を過ごせるサポート体制

⇒ 少人数での学習や空間デザインの工夫、地域企業等と連携した体験活動を推進する。

◆ A 委員から「社会的自立を目標とするにあたり、早い段階から地域企業等と連携し、実感を伴う体験型学習を取り入れることが重要ではないか」との意見があり、事務局や黒沢氏から考えや助言が示された。また、これらを踏まえ、B 委員から「子どもによって段階が大きく異なるため、スモールステップで支援を進める必要がある」との意見が出された。

【意見・助言内容】

① 社会との接点づくり（事務局）

地域や企業と連携した体験型学習、体験活動を充実させ、社会的自立に必要な自

己選択・自己決定する力を養うことを目指す。

② 協働活動と生活体験の重要性（黒沢氏）

- ・ 不登校経験のある子どもには、いきなり職場体験等をさせるのではなく、協働活動等を通して他者と調整しながら「関わる力」を養うことが必要である。
- ・ まず、会社見学等で社会のしくみを理解させること、生活体験・習慣を補うことなどが、自立の土台作りに有効である。

（２）その他

- ・ 次回スケジュールについて